

話は変わりますが、昨年、ゴルフの全英女子オーブンで20歳の選手が日本人としては42年ぶりのメジャー

ます。令和2年度同窓会総会にて、会長に就任させていただきました昭和62年3月卒業の秋田孝です。よろしくお願いいたします。

平素より埼玉県立所沢高等学校同窓会の活動にご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げ

「笑顔を絶やさず」

新同窓会会长 秋田 孝



2020(令和2年)
7月発行
埼玉県立所沢高等学校
同窓会
所沢市久米1234
☎04(2922)2185

同窓会の役割は会員相互のネットワークを作ること、そして生徒の皆さんへの支援であります。社会人としての長い人生は、七転び八起きの連続です。成功し得意満面の時もあれば、誰しも不遇を嘆く時もあります。山坂の多い人生ですが、嬉しい時も悲しい時も青春時代を思い出します。母校に思いを馳せて下さい。

大会優勝という快挙を成し遂げました。この選手はゴルフの技術も素晴らしいのですが、それ以上に笑顔が注目され海外メディアから「スマイルシンデレラ」と呼ばされました。その笑顔が人々を魅了し、多くの外国人からの声援も受け、笑顔は世界共通のコミュニケーションであることを実感したそうです。笑顔の陰には強い精神力が必要かと思いますが、この笑顔を武器に、今後も世界の舞台で頑張っていただきたいものです。

同窓会の役割は会員相互のネットワークを作ること、そして生徒の皆さんへの支援であります。社会人としての長い人生は、七転び八起きの連続です。成功し得意満面の時もあれば、誰しも不遇を嘆く時もあります。山坂の多い人生ですが、嬉しい時も悲しい時も青春時代を思い出します。母校に思いを馳せて下さい。

今年度当初の人事異動で着任した校長の佐久間です。よろしくお願い申し上げます。創立122年目を迎えた長い歴史と輝かしい伝統を誇る本校の校長に就任し、身の引き締まる思いです。また、微力ではございますが、本校の発展のため、生徒たちの「夢」や「志」の実現のため努力する所存です。

着任の御挨拶

新校長 佐久間 博正

= 目次 =
(6) (5) (4) (3) (2) (1)
前同窓会長・新校長あいさつ
同窓会報告(平成7年卒)
活躍する卒業生
加藤圭木さん

(7) (8) (9) (10) (11) (12)
「活躍する卒業生」松尾さん・みやじまさん
卒業しました どうぞよろしく
令和元年度 進路実績
同窓会役員名簿・決算報告
事務局から

さて、皆様も御存じのことと思いまが、新型コロナウイルス感染症のため、全ての県立高校では3月から5月までの3か月間、臨時休業が実施されました。特に、4月から市内の感染者が増加したこともあり、本校では4月9日に予定していた入学式を延期しました。6月からは、学校が再開されますが、当面は分散登校や時差登校を実施します。臨時休業の間は、グーグル・クラスルームを活用し、本校教員が作成した動画や課題を配信して、生徒に取り組ませました。ただし、各家庭のIT環境が大きく異なることなど、困難な面もありました。また、本校の特色ある学校行事や生徒会活動も、中止や延期となったり、規模を大幅に縮小したりせざるを得ない状況にあります。さらに、部活動も、活動停止が続き、3年生にとつて最後との舞台等が中止となり、そのまま

引退するような誠に残念な状況です。また、全日制の3年生と定時制の4年生にとつては、今年度の進学や就職がどうなるのか大変気がかりです。このような先行き不透明で困難なる大会等が中止となり、そのまま現状に、大きな不安を感じている生徒もいると思いますが、生徒には、あえて「プラス思考」でやれることに対し、しつかり取り組んでもらいたいと考えています。例えば、苦手教科の克服や受験勉強を本格的に始めることがあります。

結びとなります。同窓会の皆様には、母校である本校のため、後輩である在校生のため、今後も変わらぬ御支援・御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

節目を迎えて

前同窓会会长 松本明信



同窓生の皆

さんこんにち
は、如何お過
ごしですか。

今年も同窓
会報をお送り
させて頂きま
す。同窓生の

様子、学校の様子はじめ多彩な記事
を掲載させていただきました。記事
の投稿はじめご協力いただいた方々
に感謝しております。特に年度末前
後のお忙しい中、編集担当の先生方
に感謝申し上げます。

この記事を書いている今、新型コ
ロナウイルス感染症拡大予防から外
出自の、厳しい社会状況にあります。
世の中予期せぬ事態が起るもの
だと実感しています。

さて、昨年の会報にも報告させて
いただきましたが、一昨年は120
周年を迎え、各種記念行事も終える
ことができました。その様な中、同
窓会に尽力頂いた木下先生の訃報は
大きなショックでした。

この3年間、民間から校長になら
れた曾根一男校長には、多彩な経験
からユニークな学校経営に、生徒は
勿論、教職員、保護者始め多くの皆
さんに感謝され勇退されました。こ
れからも更なるご活躍を祈念申し上
げます。

この1年の会の運営ですが、新会
員360名を迎え、100周年から

120周年までのDVDの作成、名

簿の追加販売、所高祭への同窓会コ
ーナー、会報の発行、さらには、在

校生支援プロジェクトとして、卒業
生の加藤圭木一橋大准教授に講演頂
き、在校生360名を超える生徒は

熱心に聞いていただきました。

1970年に25歳で木下先生に誘
われて同窓会に関与して以来、早く
も50年が経ちました。前会長の当麻
実先輩の後引き継ぎ4期8年が経過
しました。80周年、100周年、
120周年と多くのことを経験すこ
とができました。この間役員、教職
員、PTA、後援会等多くの皆さん
に助けていただきました。改めて感
謝申し上げます。

さて、同窓会ですが、平成以降1
万人を超える若い同窓生が誕生して
社会で活躍されており、大いに期待
しております。そこで、この度5月
の総会において、会長の交代を考え
ており、この会報が届くときには新
会長の紹介ができると思います。

長い間ありがとうございました。
感謝申し上げます。

同窓会事務局より

松本会長には、4期8年にわたり
会長をお務めいただきました。議会
等でお忙しい中、頻繁に学校に足を
お運びいただき、所沢高校同窓会だ
けでなく、在校生のためにご尽力い
ただきました。心より感謝申し上げ
ます。また、今後は顧問として、ま
た違った立場からのご助言をいただ
ければと思っております。これから
も末永く所沢高校同窓会をよろしく
お願いいたします。

退任あいさつ 希望の広場に オープンカフェを

前校長 曽根一男



創立 119

年目からの3

年間お世話に
なりました。

とりわけ一
昨年の120

周年記念事業
については同窓会の絶大なご支援を
いたいたことにあらためて感謝申
し上げます。

その一環として整備していただき
た人工芝の「希望の広場」に関して
重要な報告をさせていただきます。

昨年夏、老朽化した学食（給食室）
の耐震補強のための調査を行ったと
ころ、補修工事ではなく建て替えと
なりました。県費での建物の新築は
学校にとって大きなチャンスです。
問題は場所です。

私は同じ敷地での建て替えが最善
と考え調整を続けてきましたが、ど
うしても食堂が使えなくなる1年間
を乗り切る解決策が見出せません。
定期制の給食は絶やせません。結局、
新旧の食堂利用が途切れないので
の敷地を選ぶこととなり、旧合宿所
へ

跡地か旧講堂跡地（希望の広場）の
二択となりました。アクセスや環境
面で後者の方が圧倒的に優れており
人工芝の一部をあきらめて建設を計
画することとしました。

人工芝は800m²あり、食堂の建

築面積はその半分以下です。同窓会
館との間の駐輪場を移設しそのエリ
アも含めて同窓会館寄りに配置する
ことで、失われる人工芝を最小化し、
校舎（2号館）から上履きのまま食
堂と同窓会館に移動できるようにす
ることを目指します。令和2年度に
設計、令和3年度に建築の予定です。

南面に人工芝が広がるオープンカ
フェ風の開放的な学食が希望の広場
とともに生徒の憩いと集いの場とな
るでしょう。その様子は線路沿いの
道や電車からも見えます。

正門を入れると「伸びゆく青年像」
の背景として希望の広場の奥に建つ
新しい所高のシンボルとなります。

私の構想ではあの敷地は将来、所
沢高校を中高一貫校とする際の中學
部の校舎の建設予定地だつたのです
が、在任中の3年間ではその実現の
道筋をつけることはできませんでした。
た。これは次代に託します。

所沢高校の益々の
発展を祈ります。



同窓会 報告

「卒業から四半世紀、前回から 15年たつてやつとの開催!」

平成7年3月卒業
幹事3年9組

笠井 真吾、清水 宏樹

半ば「やるやる詐欺」になりかけていた我々の同窓会。卒業から5年目、10年目で開催し、気が付ければ前回開催から15年も経過。ここでやらなきやいつやるの?今でしよう!とばかりに準備をスタート。

当初は200名の参加を見込んで前年の6月からスタートした準備。フェイスブックページを立ち上げたり、同窓会ホームページを作ったりといろいろと工夫をするものの、なかなか思うように開催の情報を届けられず。我々の世代的にはやっぱりハガキ!とばかりに、最後はDM作戦を繰り広げ、何とか迎えたその日。

令和2年2月1日(土)、卒業25年の節目の年、池袋ホテルメトロポリタンで83名の同窓生をはじめ、宇津木先生、岡村先生、小林先生、柴田先生、戸澤先生、松井先生、山下先生の7名の恩師の皆さんにご参加頂き、所沢高校1995年3月卒業生

同窓会を盛大に開催することができました。

みんな40代も半ばに差し掛かり傍目に見れば立派な大人?のはずが、この日ばかりは高校時代に戻ってあちこちで話に花が咲き、クラスや部活といった垣根を超えて、同じ所高で3年間を過ごした仲間として旧交を温めることができました。

会の終わりには、当初から全体での集合写真を撮ろうと思っていたものの、会場から「しじんごう。クラスごとに写真撮ろう!」との声。急遽、担任の先生を囲んでクラス写真の撮影会!今こうして写真を見てみるとクラスごとの個性?が何となく出ていて興味深いものです。

(3年9組青連団長 笠井 真吾)



同窓会報告

昭和47年3月卒業

幹事

内野 吉治

小峯 勝次

令和元年11月16日(土)、昭和47年3月卒業の同窓会が母校に近い「ベルヴィイザ・グラン」を会場に開催されました。当日は生物担当の田中勝司先生、国語担当の細野恭代先生の恩師2名をお招きし、80名余の同級生が集い賑やかに行われました。

青春の時と共に過ごした者同士、その友情は何時までも変わることはありません。宴席での思い出話や近況報告などの後は、校歌・応援歌で終了し、名残惜しむ中、再会を約束してお開きとなりました。



所沢高校で学んだ 民主主義と人権

加藤圭木さん(平成13年度卒)



はじめに

私は現在、一橋大学大学院社会学研究科の教員として、朝鮮近現代史・日朝関係史の研究と教育に関わっています(「朝鮮」は、朝鮮民族や朝鮮半島全体を指すものとして使っています)。日本の朝鮮侵略・植民地支配の実態を検討するとともに、そうした困難のなかで朝鮮人がどのように生きたのかを考察しています。半島に対しては韓流ブーム以前とい

うこともあり、ほとんど興味もありませんでした。それにもかかわらず、高校時代が現在の自分の原点だと感じるのは、所高で民主主義と人権の重要性を学んだからに他なりません。後述するように、植民地支配の問題は人権問題であり、民主主義の根幹にかかわる問題だからです。

衝撃的だった生徒会の民主主義

私が所高に入学したのは1999年のことです。日の丸・君が代の強制をめぐる問題で、その前年に生徒主催の卒業記念祭・入学を祝う会が新たにつくられました。そうした中で迎えた2回目の入学を祝う会で、私は入学したのでした。

この問題の本質は、学校における民主主義と子どもの人権をいかに保障するのかということでした。民主的プロセスを一切無視して、日の丸・君が代を強制する校長のあり方が問題になつたのです。これは所高で積み上げられてきた生徒の自主活動や、生徒と教職員が話し合いを重ねて学校を運営するあり方の一方的な破壊に他なりませんでした。そして、子どもの権利条約などで保障されている子どもの人権を侵害する行為でもあったのです。

入学直後、生徒会オリエンテーシ

『活躍する卒業生』

ヨンがありました。それは私に衝撃を与えるました。そこで語られたのは、「所高生の自由のためのたたかいの歴史」だったのです。1970年頃からの自由と民主主義の獲得のための長い努力があつて、「自由・自主・自立」の所高の現在があるのです。この自由や自主は努力しなければ失われてしまうのだ。そのようなことを、生徒たちが力を込めて語っていたのです。

今、歴史学の教員として、学生や市民に向けて歴史を学ぶ意味について語る機会が多くあります。歴史を学ぶ意味は様々ですが、(特に近現代史について)私は1つの考え方として、民主的で人権が真に尊重される社会をつくりだしていく上で、歴史を学ぶことは重要であると話すことにしています。過去の国家犯罪や正義に反する社会のあり方を批判的に検証し、人びとがそれをどのように乗り越えようとしてきたのかを明らかにすることは、真に人権や民主主義が尊重されるとはどういうことかを考えることにつながるからです

(このことは私自身も編集にかかわった東京歴史科学研究所会編『歴史を学ぶ人びとのために—現在をどう生きるか』岩波書店、2017年で議論されています)。歴史学というとマニアックな印象を持たれがちです

が、きわめて実践的な学問だと私は思っています。そうした歴史学のあり方を踏まえて考えますと、生徒会オリエンテーションは、所高生の現在の課題との関係で、自由獲得の歴史が語られていたわけですから、とても実践的な「歴史教育」だったのです。

それ以上に私が感銘を受けたのは協議会の存在でした。所高には、生徒総会と職員会議の決定が食い違った場合には、両者の代表が話し合う協議会を開くことが明確に規定されています。学校の構成員が徹底的に話し合いにより問題を解決していくと、いうあたり方は、民主的な学校の象徴と思えましたし、なにより学校の主役は私たち生徒なのだとということをストレートに表現しているように感じられました。

1999年は国旗・国歌法が成立した年でした。これは所高における日の丸・君が代の強制に関する議論にも大いに影響を与えました。前述の「日の丸・君が代の強制に関する



講演後、同窓会館にて（左から曾根校長、加藤さん、林先生、柴田先生、矢笠先生）

1年生の時はホームルーム委員として生徒会活動にかかることになりました。その中で、生徒自治について学んでいきました。生徒会権利章典（1990年）や「日の丸・君が代の強制に関する決議文」（1989年）の存在にも驚きましたが、それ以上に私が感銘を受けたのは協審議時間は合計13時間だったと記憶しています。今になつて感じるのは、そうした議論を見守り、議論する機会を保障してくれた先生方の生徒への信頼の厚さです。

なお、生徒総会を前後する時期に、そこに至るまで、10～11月にかけて、実際に4回の生徒総会を持ちました。

生徒会副会長に

1999年秋の生徒総会は貴重な経験でしたが、所高の民主主義は危機に瀕していると感じました。そこで、私は高校2年生の時に生徒会副会長に立候補しました。そこでやつたことは、所高の生徒会活動を活性化させることでした。これまで生徒会が議論の対象としてこなかつた、授業やカリキュラムのあり方について議論を深めていつたり、学校の施設・設備の改善などの問題にも取り組みました。そして、一番重視したのは『FREE』の発行です。

『FREE』で生徒にとつて重要な問題を次々にとりあげ、議論を活性化していくことが必要だと考えたのです。毎晩のように生徒会室に居残りし、年間通して103号を発行しました。当時としては「大記録」だつたのですが、翌年、一つ下の代がそれ以上の号数を発行してあつさりと記録は破られました（103号の『FREE』は、『とつてもFREE』



朝鮮半島との出来事

一浪して東京学芸大学に入り、所
高で1998年度にPTA会長もさ
れていた君島和彦先生のゼミに所属
しました。君島先生の専門は歴史学
で、日本の朝鮮侵略史や歴史教科書
問題について研究をされていました
所高での経験もあつたので、高校
生のうちは漠然と大学では子どもの

書室にも所蔵されています)。このように生徒会活動などにのめり込み、勉強は全くしませんでした(演劇部にも全力を尽くしましたが残念ながらその経験を書くことでのきる紙幅はありません)。ただ、毎日のように『FREE』を書いたことは、論理的な文章執筆のトレーニングになっていたのです。問題を自ら把握し、論理を組み立てていく。これは現在論文を書くときにやつていることと実は全く同じです。ただやはり勉強不足で浪人することになりました。

人権などの問題について学んでみたないと考えていました。一方で、歴史の授業は面白いと感じてもいました。そうした中で、「新しい歴史教科書をつくる会」の教科書が検定に合格するといった動きがあり、子どもの人権の問題と歴史学の問題が徐々につながっていきました。そして、浪人時代に、歴史教科書問題や日本と朝鮮半島の近現代史を学びたいと思うようになりました。そうしたときに元々PTA会長ということで知っていた君島先生のことを思い出し、学芸大に進んだわけです。

その後、君島先生から歴史学を学び、韓国にもたびたび連れて行ってもらいました。先生の勧めで、2005年には1年間韓国に留学する機会も得ました。そうした中で、自分がいかに侵略や植民地支配の歴史を知らないのか、朝鮮半島の人びとの主体的な姿を知らないのかということを思い知られました。さらに深く学びたいと考え、一橋大学大学院に進学し、朝鮮近現代史を専攻しました。

私が朝鮮近現代史に強く惹かれたのは、それが民主主義や人権の問題と大にかかわっていると感じたからです。それは2つの意味があります。1つは、日本の侵略と植民地支配は、日本が引き起こした重大な人

権侵害行為であるということです。

日本軍「慰安婦」問題や朝鮮人強制連行・強制労働をはじめ、さまざまな問題がありますが、それらの実態を解明し、明確な反省を打ち立てていくことが、日本の民主主義の課題だと考えたのです。もう1つは、日本の侵略や分断に抗して、朝鮮半島の人びとは長年民衆が主体となる社会を目指してたたかってきたからです。

そして、それは真に民主主義や人権が尊重される社会を目指す現在の朝鮮半島の動きへつながっています。韓国に留学したときに、学生の自治が強く、民主主義や人権に対する意識が日本よりもはるかに高いと感じました。そうした朝鮮半島の人びとの主体的営為を知りたいと思ったのです。



2年生対象の在校生支援プログラムにて
(令和2年2月17日実施)

おわりに

所高時代、ある先生が「おかしいことにはおかしいといわなければならぬ」と話してくれました。それこそが民主主義社会には必要であるというのです。

今、大学で教えていると、多くの学生が現在の日本社会に対して閉塞感を感じているといいます。性差別や民族差別が深刻化し、民主主義は危機的状況です。学生たちはこうした現状は「おかしい」と思うといいます。しかし、同調圧力の強い日本社会では、社会や政治について議論したり、意見を表明しにくい状況があり、多くの学生が息苦しさを感じているといいます。

自分たちの問題を自分たちで話し合って決める。一人一人の人権が尊重されるようにする。こうした所高で「あたりまえ」に大切にされていた民主主義のあり方が、今の日本社会においてあらためて重要な意味を持つているように思います。

真に民主的な社会とは何か、人権が尊重されるとはどういうことか。所高時代に投げかけられた問いを考え続けています。

加藤圭木さん プロフィール

1983年生まれ

2002年 所沢高等学校卒業

2003年 東京学芸大学教育学部

国際理解教育課程日本研究専攻入学

校に交換留学

2008年 一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻修士課程入学

2014年 一橋大学大学院社会学研究科総合社会科学専攻博士後期課程修了

2018年より一橋大学大学院社会学研究科准教授



著書を図書館に寄贈していただきました

専門分野は歴史学。東アジア近現代史、特に日本と朝鮮半島の関係史、歴史教育などが主な研究領域。また市民との共同活動にも取り組んでいる。

2020年 3月 卒業しました どうぞよろしく



令和2年3月卒業
水村 海渡

所高で発見したこと

私は、所沢高校の自主自立、生徒たちで作り上げていくぞという校風に憧れて入学しました。所高で3年間過ごしてきた今、この選択は間違つていなかつたと胸を張って言えます。自主自立の校風のもと、個性豊かな友達や先生方に恵まれていたからです。行事はもちろん、勉強や部活動でも沢山支えてもらいました。

勉強では、私は高校受験までは塾に通わせてもらっていましたが、所高に入学し、やめた後は自力で成績を伸ばすしかありませんでした。どのようにすればいいか困っている時に先生方はいつもアドバイスをくれました。例えば、「声に出して読んでみる」などです。半信半疑で実践してみると本当に覚えられるようになります。

(早稲田大学人間科学部進学)

ています。毎週の小テストを友達と一緒にあうなど日々の小さなことでも、その積み重ねで大きな成果になるということを学びました。

部活動では、卓球部で部長を務めました。正直に言うと、部長として上手くやっていけるか不安だったのですが、最後までついてくれた同級生や後輩には本当に感謝しています。

練習の中で発見した自分の弱点をそのままにせず克服しようと努力することの大切さを学びました。

在校生の皆さんにアドバイスしたいことは、「自分の弱さを認める」ということです。勉強でも部活動でも、まずは自分が何が苦手なのかを理解して適切な対処をするということです。失敗を恐れないでください。所高にはそんな失敗をフォローしてくれる優しい友達や先生方が沢山います。

これから進学して、新しい環境で上手くやつていけるか不安ですが、所高の中で自分で発見したこと、そして周りの人達に教えてもらつたことを糧に日々邁進していきたいと思います。



令和2年3月卒業
平田 綾

新会員となつて

卒業したら市役所の職員として働きます。同級生のほとんどが進学する学校で、就職という道を選ぶことは不安もありますが、かねてよりの夢であつた地方公務員になることができ、4月からの社会人としてのスタートに胸を弾ませています。

卒業を目前に控えた今、私は所高生であること、今まで所高の自治を行つてきた先輩方の後を継いでできることに誇りを持っています。私が所沢高校に入学したとき、偏差値と通りやすさ、私服であることで決めた高校であり、特に思い入れも、目標もありませんでした。強いて言うなら、小、中と続けてきたH.R委員を続けることでした。

H.R委員となり感じたのは、所高生徒会の自治のシステムが、生徒によつて構成されていることです。そして同時に、それは生徒と先生の信

頼関係の上に成り立つてゐるものだとわかりました。2年にあがりホーミルーム委員長として所高の生徒会に深く関わり、様々な経験を積んだ中で、臨機応変に対応することの大切さを実感しました。物事が自分の想像通りに進行することなど無きに等しく、多少のずれは生じるものですが、そんな時のとつさの判断が、いかに成功に近づけるかのカギを握っているようでした。ある時、先生が「平田が臨機応変に動けるのは、所高のシステムについてよく知つてゐるからである」とおっしゃいました。私は自覚しないうちに所高について先生よりも詳しくなり、それを基に堅実な判断ができるようになりました。

私は自ら知らず知らずのうちに多くの知識を得ていたことは驚きです。先生よりも詳くなり、それを基に堅実な判断ができるようになりました。私は自覚しないうちに所高についていた。知らず知らずのうちに多くの知識を得ていたことは驚きです。先生よりも詳くなり、それを基に堅実な判断ができるようになりました。私は自覚しないうちに所高についていた。知らず知らずのうちに多くの知識を得ていたことは驚きです。先生よりも詳くなり、それを基に堅実な判断ができるようになりました。

うのではなく、長年の経験則や知識に基づき、自然と正しい道を選ぶことだと、この時思いました。

社会人として働くうえでも、このように多くの知識を吸収し、沢山の経験を積み、鋭い勘を養つていただきたいです。他とは違う校風、自治を持つた所沢高校に通い、様々な経験をした3年間は、とても濃く、私の礎となるものでした。

(新座市役所就職)

部活動紹介

男子バレーボール部

顧問 高橋 康太

はじめに、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、および関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。今まで部活動を当たり前にできていたことの幸せを噛みしめ、再開後は子どもたちが悔いなく学校生活、部活動に取り組めることを切に願います。

現在、男子バレー部は3年生8名、2年生5名、マネージャー2名の計15名で活動しています(新1年生は休校中のため未定)。昨年度は2年ぶりの地区大会決勝進出、県ベスト16という成績を残すことができました。この結果は現役の選手たちの頑張りはもちろん、今の所高バレー部を築きあげてきた先輩方の努力の賜物であると思います。

近年の運動部活動は、私立高校が選手を集め勝ち上がっていくことが多く、バレーボールも例外ではありません。多くの大会で私立高校が上位を占めるなか、所沢高校が勝ち上がっていくためには、この学校の核である「自主自立」これを徹底する

ことに尽力すると思っています。高校からバレー部を始めた選手が多い中で、練習や試合を通してチームの課題を見つけ、話し合い、改善していくことがコートの中で、自分たちの力で、できるかどうか。上手くいかない時に、仲間と励まし合い立ち向かっていけるかどうか。どの代の選手たちも、悩みぶつかりながらも掲げた目標に向けて努力を重ね、この5年間で1度も県大会出場を逃さずにつきました。

ここ数年、部活動を取り巻く環境は大きく変化しています。週2日は休む。休日でも3時間以内に練習時間を探える。この変化はバレーの技術向上には厳しいものかもしれません。しかし、さらに自主自立に磨きをかけ、短時間の練習で上達する方法を模索し、部活、勉強、私生活の全てを充実させることができるような部活を目指していきます。

今後も「所高バレー部ここにあり！」と地区・県に誇れるよう精進して参ります。応援よろしくお願ひ致します。



**令和元年度
同窓会が
支援した部活動**

陸上競技部 関東大会出場・関東選手権出場、インターハイ出場

山岳部 関東大会出場

ギター部 第43回全国高等学校総合文化祭出場補助(参加者54名、佐賀県)

文芸部 高校生万葉バトル大会出場

フォーカク部 全国高等学校軽音楽コンテスト出場、第9回どよさと軽音楽甲子園出場

書道部 第44回全国高等学校総合文化祭出品

弦楽部 第45回全国高等学校総合文化祭出場

※在校生支援の一環として、お祝金、または出場補助費として支援いたしました。

令和元年度入試結果 大学・短大合格者数 (令和元年度卒業生・既卒生)

	大学名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
国 公 立 大 学	小樽商科大	1		1	1		1
	埼玉大	2		2	2		2
	千葉大	1		1	1		1
	東京芸大	1		1	1		1
	新潟大	1		1	1		1
	信州大	1		1	1		1
	東京工業大		2	2		2	2
	東京農工大		1	1		1	1
	埼玉県立大	1		1			1
	都立大		1	1		1	1
	山梨県立大	1		1	1		1
	防衛医科大学校	1		1	1		1
	職業能開大学校		1	1			0
	計	10	5	15	9	4	14
	平成31年度入試	1	2	3	1	2	3

	大学名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
私 立 大 学	青山学院大	5	2	7	2		2
	亜細亜大	8		8	3		3
	跡見学園女子大	7		7	2		2
	桜美林大	3		3	2		2
	大妻女子大	3		3	2		2
	大谷大	1		1	1		1
	嘉悦大	1		1			
	学習院大	9	4	13	8		8
	学習院女子大	1	1	2	1		1
	神奈川大	1	1	2			
	神奈川工科大	3		3	1		1
	関西大		1	1			
	神田外語大	4		4	1		1
	北里大	1		1			
	京都産業大	1		1			
私 立 大 学	京都造形芸大		1	1		1	1
	共立女子大	3		3	1		1
	杏林大	2	1	3	2	1	3
	近畿大		2	2		1	1
	慶應大		1	1			
	恵泉女子学園大	4		4			
	工学院大	7		7	6		6
	国学院大	3	1	4	1	1	2
	国際医療福祉大	1		1	1		
	国士館大	19	5	24	5		5
	駒澤大	5	7	12	3	1	4
	駒沢女子大	4	1	5			
	埼玉医大	3		3	3		
	埼玉学園大	3		3	1		1
大 学	相模女子大	1		1	1		
	産業能率大	3		3	1		1
	実践女子大	5	1	6	2		2
	芝浦工大	13	8	21	5	3	8
	十文字学園女大	6		6	1		1
	淑徳大	3		3			
	順天堂大	2		2	1		1
	城西大	13	4	17	5		5
	上智大	1		1	1		1
	上武大	1		1	1		1
	尚美学園大	1		1	1		1
	昭和女子大	4	1	5	4	1	5
	昭和薬科大		1	1			
	女子栄養大	3		3	2		2
卒 業 生 集 計	女子美大	2		2	1		1
	白百合女子大	4		4			
	白梅学園大	2		2	1		1
	駿河台大	4	4	8	1		1
	聖学院大	1		1	1		1
	成蹊大	7	4	11	5	2	7
	成城大	3	1	4	1		1
	清泉女子大	1		1			
	西武文理大	5		5	3		3
	専修大	10	8	18	5	3	8
	創価大	2		2			
	大正大	6		6	4		4
	大東文化大	24	9	33	6	2	8
	高千穂大	3		3			
入 試 方 法	拓殖大	15	9	24	3	4	7
	玉川大	2	1	3	2		2
	千葉工大		1	1		1	1
	中央大	6	2	8	5	1	6
	津田塾大	1	1	2	1	1	2
入 試 方 法	帝京大	25	8	33	9		9
	帝京科学大	1		1			
	帝京平成大	2		2	2		2
	東海大	5	1	6			

	大学名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
	東京医療保健大	4		4	2		2
	東京家政大	11		11	9		9
	東京経大	5	3	8	3	1	4
	東京工科大	8		8	5		5
	東京芸大	1	3	4			
	東京国際大	9	6	15	3		3
	東京慈恵会医大	1		1	1		1
	東京女子大	2	3	5	1	1	2
	東京女子医大	1		1			
	東京成徳大	2		2	1		1
	東京造形大		1	1	1	1	1
	東京電機大	15	4	19	6	2	8
	東京都市大	3		3	1		1
	東京農大	6		6	4		4
	東京薬大	3		3	2		2
	東京理大	4	4	8	3		3
	東洋大	37	8	45	13	4	17
	東洋英和女学大	2		2			
	獨協大	4	1	5	3		3
	二松学舎大		1	1			
	日赤看護大	1		1	1		1
	日本大	23	10	33	10	2	12
	日本医療科学大	1		1	1		1
	日本工大	2		2			
	日本社会事業大	1	1	2	1		1
	日本獣医生命大	2		2	1	1	1
	日本女子大	5		5	3		3
	日本体育大	2		2	2		2
	日本文化大	2		2	2		2
	日本薬大	1		1			
	人間総合科学大	1		1			
	フェリス女子大	3		3			
	文化学園大	2		2	2		2
	文教大	9	2	11	1	1	2
	文京学院	5	1	6	2		2
	法政大	14	7	21	8	1	9
	北海道医療大	1		1	1		1
	武蔵大	11	4	15	3	2	5
	武蔵野大	6		6	5		5
	武蔵野学院大	1		1			
	武蔵野美大	5		5	4		4
	明治大	14	9	23	6	5	11
	明治学院大	3	2	5	3		3
	明治薬大	6	1	7	3	1	4
	明星大	13	2	15	4		4
	目白大	5	2	7	2	2	4
	ものづくり大	2		2	1		1
	ヤマザキ動物大	1		1	1		1
	横浜薬大	1		1			
	立教大	11	1	12	10	1	11
	立正大	3	5	8	2	1	3
	立命館大	1	1	2	1		1
	了徳寺大	1		1			
	麗澤大	1		1			
	早稲田大	4	3	7	3	1	4
	計	569	179	737	258	50	299
	平成31年度入試	436	95	531	241	29	270

	大学名	合 格 数			入 学 数		
		現役	既卒	合計	現役	既卒	合計
	淑徳大短大部	2		2	2		2
	東京家政大短大	1		1	1		1
	山野美容芸術短大	1		1	1		1
	共立女子短大	1		1	1		1
	日本大短大部	1		1	1		1
	計	6		6	6		6
	平成31年度入試	6		12	4		10

	種 別	令和2年3月卒			平成31年3月卒		
		4年制大学	短期大学	専門学校(各種を含む)	その他(進学・留学等)	就職(公務員含む)	未定(浪人含む)
	卒業生集計	267	6	30	0	4	52
		6	32	0	0	4	78
		30	32	0	0	4	78
		324	298	359	363	86%	79%
	卒業生数	359	363	324	298	86%	79%
	現役進学率	261	270	6	27	261	270

入 試 方 法	令和2年3月卒業生	大 学			短 大			専門学校		
一般入試	AO	合 計	大 学	短 大	合 計	一般入試	AO	合 計		

<tbl_r cells="5" ix="1" maxcspan="3" maxrspan="

令和元年度卒業 同窓会クラス幹事

1組	鎌倉 彩葉	前田 結衣
2組	秋葉 博尚	中山 恵里奈
3組	高井 瞳人	高橋 楓
4組	宇治野 真	松村 実紀
5組	岩嶋 なごみ	清水 将嘉
6組	齋藤 雅音	金子 香花
7組	並木 幸之助	駒形 風花
8組	野村 拓海	石渡 鈴乃
9組	久保 歩輝	原田 理紗子

令和2年度 同窓会役員

役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年	役職	氏名	卒年
顧問	肥沼 金治	30	監事	木村 一男	44	常任幹事	大澤 春	62
顧問	島田 孝男	33	監事	岡村 能成	47	常任幹事	大津 力	H2
顧問	当麻 実	36	常任幹事	小杉 正司	32	常任幹事	山村 泰	H6
顧問	松本 明信	38	常任幹事	八木 勝利	36	常任幹事	金祐 平	H20
会長	秋田 孝	62	常任幹事	大河原 勝次	39	常任幹事	松尾 豪	H23
副会長	岩岡 民枝	29	常任幹事	古谷 真一	43	校長	佐久間 博	
副会長	森田 貢	32	常任幹事	田畠 喜久男	45	事務部長	安井 伯宏	
副会長	西久保 正一	41	常任幹事	大館 隆行	46	事務局	神谷 一彦	
副会長	本橋 栄三	43	常任幹事	山下 勝也	53	事務局	高木 和夫	
副会長	山下 成巳	59	常任幹事	原田 久夫	54	事務局	石井 政江	
副会長	三上 恭央	61	常任幹事	桑原 浩	55			
会計	瀧島 孝一郎	43	常任幹事	大石 健一	59			
会計	宇賀神 大輔	H15	常任幹事	榎元 俊介	60			

令和元年度 埼玉県立所沢高等学校同窓会決算報告書

収入決算額 9,576,141 円
支出決算額 3,803,936 円
残額 5,772,205 円
(令和2年度へ繰越)

1. 収入の部

項目	予算額	決算額	比較増減	摘要	要
(1)会費	4,380,000	4,3,8,000	▲ 72,000	入会金(2,000円)および終身会費(10,000円)×359名	4,308,000
(2)雑収入	20,000	17,702	▲ 2,298	DVD・名簿売上等 利息	17,500 202
(3)繰越金	5,250,439	5,250,439	0	平成30年度より繰越	5,250,439
計	9,650,439	9,576,141	▲ 74,298		

(単位:円)

2. 支出の部

科目	予算額	流用増減額	予算現額	決算額	残額	摘要	要
(1)同窓生支援費	500,000	0	500,000	250,173	249,827	ホームページ更新 所高祭関係 卒業アルバム代(保管用)	235,620 3,369 11,184
(2)在校生支援費	500,000	24,611	524,611	524,611	0	支援プログラム謝礼等 部活動助成 卒業記念品 バッジ	20,000 340,000 164,611 0
(3)同窓会報費	3,000,000	0	3,000,000	2,637,485	362,515	印刷代 発送代	785,846 1,851,639
(4)会議費	100,000	0	100,000	12,324	87,676	会議用茶葉	12,324
(5)事務費	200,000	0	200,000	13,199	186,801	切手ハガキ代 市内旅費 祝儀袋	12,374 440 385
(6)諸費	200,000	0	200,000	0	200,000		
(7)会館整備費	400,000	0	400,000	226,144	133,856	清掃代 備品購入	141,295 124,849
(8)周年行事助成費	100,000	0	100,000	100,000	0	周年行事助成費	100,000
(9)予備費	4,590,439	▲ 24,611	4,565,828	0	4,565,828	在校生支援費に流用	
計	9,590,439	0	9,590,439	3,803,936	5,786,503		

令和元年度収支
収入決算額 4,325,702 円
支出決算額 3,803,936 円
残額 521,766 円

3. 積立金

2,000,000 円 (埼玉りそな銀行所沢支店)

上記の通り報告いたします。

令和2年6月5日

埼玉県立所沢高等学校同窓会長

松本 明信

平成30年度決算報告書及び証拠書類を監査した結果、相違ないことを証明いたします。

令和2年6月4日

埼玉県立所沢高等学校同窓会

監事 木村 一男

監事 岡村 能成

周年を迎えます。そこで、各学年の主将は部員の住所・氏名・電話番号を調べて下記までご連絡ください。100周年記念式典の資料として準備をしていきたいと思います。

rkhmjh@jcom.home.ne.jp

所高野球部 O B 会会長木村一男あて
令和2年度文化祭について

今年度の所高祭の開催は、令和3年の2月の予定です（6月1日時点）
例年、希望の鐘に同窓会コーナーを開いておりましたが、今年度は中止とさせていただきます。

掲示板

新型コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、今年度の同窓会総会は書面による表決という形で行いました。松本明信氏（38年卒）がご勇退され、新会長として秋田孝氏（62年卒）が就任されました。また、11ページのよう、新役員・決算・予算が承認されました。

昨年度末には、希望の広場の同窓会館（希望の鐘）側に新しい食堂棟を建設することも決定いたしました。希望の広場の人口芝の一部をはがすことになりますが、最も日当たりがよく、電車からもよく見える場所に生徒たちの集う場所ができることがあります。

同窓会総会・活動報告

所沢高校同窓会
ホームページ

<http://www.tokoko-dosokai.jp>

○主な内容は

・歴史写真館	・校歌、応援歌	・同窓会報バックナンバー
・著名な同窓生	・会員交流のページ	・クラス会の連絡、報告等

◇会報バックナンバーは、次のID・パスワードを入力のうえ、開いて下さい。

| ID : tokoko パスワード : midorino

会員交流のホームページは、ホームページから個々に登録することで、使えるようになります。

H P開設の目的は、会員の皆様への情報提供ですが、それ以外にも、現役の所高生やこれから所高を受験しようと考えている中学生やその保護者の方への情報発信にも役立てば、と考えています。

どうぞ、ご協力をお願いいたします。

お願い

(クラス会等の幹事さんへ)

INFORMATION

- 『所沢高校百周年記念誌』、写真冊子『所沢高校百年の歩み』、校歌・応援歌・商業学校学生歌・女学校朝会歌を収録したCDをご希望の方は所沢高内の同窓会事務局までご連絡ください。
 - クラス会・同期会の幹事さんへ（お願い）
同窓会の様子を同窓会報の記事としてお寄せいただければ幸いです。ご協力お願ひいたします。
 - 同窓会報で取り上げて欲しい話題等ありましたらご一報ください。また、活躍なさっている同窓生の方をご存知でしたらお知らせください。

- 住所変更等の場合は、ハガキなどの文書でご連絡ください。その際、記入者欄は必ずご記入ください。未記入の場合はお受けできない場合があります。なお、ハガキでの連絡で、個人情報を隠したい方は、お手数ですがハガキを封筒に入れご郵送ください。
 - 同窓会名簿の取り扱いにはご注意をお願いいたします。名簿発行は、同窓会名簿に掲載されている同窓生の方の申請のみの受け付けとなります。発行のために身分証明書をご持参の上2度ほど所沢高にご来校いただくことになります。個人情報保護のため煩雑な手続きとなっておりますが、ご理解、ご協力を
お願いいたします。手続きの詳細につきましては、事務局までお問い合わせください。

会報題字
駒井光明氏（昭和50年卒）

新型コロナによって授業だけではなく、学校行事、部活動、生徒会活動が制約を受けています。そもそも学校に来るこの意味とは、そして、所高の存在意義とは、という根源的な問いを突き付けられています。編集作業の中で、所沢高校の歴史と伝統はかけがえのない財産だということを再確認しました。こんな時代こそ所高生の出番ですね。

編集後記

加入者名 埼玉県立所沢高等学校
3 期間 令和3年2月末日

2 1 口数
振り込み 郵便振り込みで、
口座番号 000円

後援会事業は以下の3つの事業をして、本校の教育の発展・振興に大きく役立っています。

- 1 施設・設備の拡充援助
- 2 教育活動への助成
- 3 各行事への助成

賛助会員は本会の趣旨に賛同いただけた上で、賛助会員の期間は原則として1年とし、翌年度の会費納入をもつて更新する（後援会会則第4条2項）ことになります。

会費の納入については以下の様にお願いします。

所沢高等学校後援会 賛助会員加入のお願い